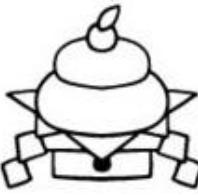




ばんびだより



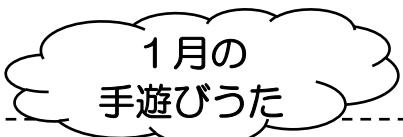
奈良市立高円こども園

子育て支援室

令和8年1月発行

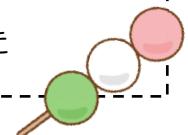
朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、吐く息が時々湯気を出しています。寒さが厳しい季節ですが、体調に気を付けながら、ばんび広場で元気いっぱい遊んで過ごしていきたいと思います。

今月は、凧あげやこま回し、だるまつみ、風船羽根つきなどのお正月遊びをしたり、プレイルームでたくさん体を動かしたりして楽しみたいと思います。



だんごだんごくついた

だんごだんご くっついた
〇〇〇にぺた もひとつぺた
あ～とれない なかなかとれない
う～ん ぽ～ん！
とれたとれた よかった



12月の様子

《たんぽぽ・すみれ組》



《クリスマスを見つけようゲーム》
部屋のいろいろな所にあるクリスマス飾りから、カードと同じものをおうちの方と一緒に探しました。

《ひまわり組》



《クリスマスソング♪》
カスタネットや鈴を音楽に合わせて鳴らして、クリスマスの雰囲気を楽しみました。



《小麦粉粘土》

ちぎったり両手を使って握ったりと感触を楽しんでいた A ちゃん
と B ちゃん。道具を使って型を抜いたり切ったりすることにも興味津々で、繰り返し楽しんでいました。

元気いっぱいひまわり組の子ども達に人気なのは、斜面を登ってジャンプすることとボールプールです。“やってみたい”“たのしい！”“もういっかい”的気持ちが溢れています♪



こそだて応援！メモ



だいじょうぶ いつでもみてるからね

子どもは、不快なことや不安なことがあると泣いたりして、『抱っこ』を要求します。そして、要求に応えてもらい安心すると、気持ちを切り替えてまた自分の世界にもどっていきます。このことを繰り返しながら、まわりの大人との信頼関係を築いていきます。

しかし、気分をすぐに切りかえられず、いつまでも抱っこを求める子どももいます。こうした子どもには『抱き癖がつく』と要求を拒否する考え方がありました。

子どもにとって『抱っこ』は、安心を実感して信頼関係を結ぶ大切なプロセスです。信頼する大人に見守られることで少しづつ周りにも目が向いて、自分の世界を広げます。個人差はあります、発達に伴い、不快や不安なことがあっても、少し手助けを求めて、抱きしめられてまた、自分の世界にもどっていけるようになります。「だいじょうぶ、わたしがいつでもみてるからね」という気持ちを込めて、子どもをしっかりと抱きしめて気持ちを受けとめてあげましょう。

